



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月12日

東

上場会社名 株式会社リニカル

上場取引所

コード番号 2183 URL <http://www.linical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,184	19.1	498	5.2	518	9.7	304	5.2
26年3月期第3四半期	2,674	3.6	473	△32.6	472	△32.2	288	△33.0

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 387百万円 (27.0%) 26年3月期第3四半期 304百万円 (△29.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	26.69	-
26年3月期第3四半期	25.36	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	5,419	2,079	38.4	182.52
26年3月期	2,836	1,851	65.3	162.52

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,079百万円 26年3月期 1,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	-	0.00	-	14.00	14.00
27年3月期	-	0.00	-	-	-
27年3月期(予想)	-	-	-	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,846	30.2	1,023	44.9	1,020	44.9	619	37.9	54.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）LINICAL Europe GmbH、LINICAL Spain, S.L.、
除外 1社 （社名）P-pro. Korea Co., Ltd.

詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	12,370,000株	26年3月期	12,370,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	975,094株	26年3月期	975,094株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	11,394,906株	26年3月期3Q	11,394,906株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業業績や雇用環境の改善が見られ景気は回復基調にあるものの、消費税増税に伴う個人消費の低迷もみられました。また、欧州景気の先行き懸念や政情不安などの影響もあり、先行きの不透明な状況は続いております。

医薬品業界においては、薬価基準の引き下げや後発品の普及促進などの薬剤費削減策の強化、主力製品の特許切れ問題及び世界的な新薬の承認審査の厳格化などにより、医薬品開発の競争はますます激化しております。

当社グループが属する医薬品開発業務受託（CRO；Contract Research Organization）業界及び医薬品販売支援（CSO；Contract Sales Organization）業界は、医薬品開発・販売のアウトソーシング化及び国際共同治験（注）の増加を背景として、市場規模は緩やかに拡大しております。近年、既存企業の規模拡大、M&Aによる業界再編が進んだ結果、業界内の競争は激しくなっているものの、直近の受注状況は改善しております。

このような状況の下、当社グループのCRO事業につきましては、増加するがん領域及び中枢神経系（CNS）領域の案件の受託体制を強化するとともに、引き続き営業活動を強力に推進し、複数の新規案件を受託した結果、売上及び利益に貢献することになりました。また、CSO事業につきましては、営業活動を強力に推進し、製販後の臨床研究を中心として新規案件の受託に成功した結果、売上及び利益に貢献することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,184百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益は498百万円（前年同四半期比5.2%増）、経常利益は518百万円（前年同四半期比9.7%増）、四半期純利益は304百万円（前年同四半期比5.2%増）となりました。

（注）「国際共同治験」とは、主要市場国における早期・同時上市を図るため、臨床試験を複数の国または地域において同時並行的に行うことをいいます。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ2,583百万円（91.1%）増加し、5,419百万円となりました。これは、主にのれん及び売掛金の増加等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ2,355百万円（239.2%）増加し、3,339百万円となりました。これは、主に短期借入金、長期借入金、未払金及び前受金の増加等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ227百万円（12.3%）増加し、2,079百万円となりました。これは、主に四半期純利益の計上による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少によるものであります。

（キャッシュ・フローの状況の分析）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より62百万円減少し、1,546百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は210百万円（前年同四半期は138百万円の使用）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益518百万円の計上があったものの、売上債権の増加額233百万円及び法人税等の支払額190百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,257百万円（前年同四半期は13百万円の使用）となりました。これは、主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出1,173百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動の結果獲得した資金は960百万円（前年同四半期は71百万円の使用）となりました。これは、主に長期借入れによる収入1,400百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第3四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCRO、CSOとの差別化を図ることにより、順調に推移すると予測しております。

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月12日に発表いたしました内容に変更はございません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。CSO事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い毎月売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から3年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

下表のとおり、平成26年3月期末の受注残高に比べ平成27年2月12日時点の受注残高は56.0%増加しておりますが、これは、既存の委受託契約を順調に消化し受注残高の金額が売上高として計上されたものの、受託案件の新規契約及び欧州CRO買収による受注残高の増加があったことによるものです。上記のとおり、アウトソーシング化及び国際共同治験の増加を背景に足下の受注環境は良好であり、営業活動の結果、既存・新規の顧客から受託案件の打診を受けていることから、CRAの増員などにより、受託体制の強化に努めてまいります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	平成26年 3月期末 (A)	平成27年3月期		増減率% (B-A)/A
		第3四半期末	平成27年2月 12日時点 (B)	
受注残高	5,604	7,496	8,741	56.0
内訳	中外製薬	883	1,428	61.8
	塩野義製薬	2,152	1,426	△33.7
	小野薬品工業	424	723	70.5
	武田薬品工業 グループ	674	321	△52.3
	その他	1,470	4,840	229.2

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結累計期間において、当社の100%子会社であるLINICAL KOREA CO., LTD. が、その100%子会社であるP-pro. Korea Co., Ltd. を吸収合併したため、P-pro. Korea Co., Ltd. を連結の範囲から除外しております。

また、当第3四半期連結累計期間において、当社がNuvisan CDD Holding GmbH (LINICAL Europe Holding GmbHに商号変更済み) の全株式を取得したため、同社及び同社の子会社5社を連結の範囲に含めております。このうち、Nuvisan CDD Germany GmbH (LINICAL Europe GmbHに商号変更済み) 及びNuvisan Clinical Development Solutions Spain, S.L. (LINICAL Spain, S.L.に商号変更済み) が当社の特定子会社に該当します。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,557,347	1,545,324
売掛金	634,720	1,295,569
有価証券	51,050	1,065
仕掛品	661	—
前払費用	39,443	58,140
繰延税金資産	43,391	28,252
立替金	59,215	63,012
その他	1,414	45,839
貸倒引当金	△107	△80
流動資産合計	2,387,137	3,037,124
固定資産		
有形固定資産	37,551	59,893
無形固定資産		
のれん	136,913	1,935,063
その他	9,809	61,324
無形固定資産合計	146,722	1,996,387
投資その他の資産		
差入保証金	230,159	285,420
その他	34,925	40,880
投資その他の資産合計	265,085	326,301
固定資産合計	449,359	2,382,582
資産合計	2,836,497	5,419,707
負債の部		
流動負債		
短期借入金	—	93,686
1年内返済予定の長期借入金	30,000	164,968
1年内償還予定の社債	—	350,000
未払金	107,494	384,423
未払費用	61,438	161,848
未払法人税等	75,718	78,799
未払消費税等	21,996	124,912
前受金	—	400,564
預り金	115,549	126,094
賞与引当金	94,825	59,789
その他	6,038	10,564
流動負債合計	513,063	1,955,650
固定負債		
社債	350,000	—
長期借入金	17,500	1,248,368
退職給付に係る負債	94,132	121,734
その他	9,900	14,208
固定負債合計	471,533	1,384,310
負債合計	984,596	3,339,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
資本剰余金	73,000	73,000
利益剰余金	1,842,703	1,987,293
自己株式	△289,174	△289,174
株主資本合計	1,840,572	1,985,161
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	11,328	94,583
その他の包括利益累計額合計	11,328	94,583
純資産合計	1,851,900	2,079,745
負債純資産合計	2,836,497	5,419,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,674,156	3,184,451
売上原価	1,664,241	2,089,046
売上総利益	1,009,914	1,095,404
販売費及び一般管理費	536,568	597,333
営業利益	473,346	498,071
営業外収益		
受取利息	699	755
為替差益	2,187	23,381
営業外収益合計	2,886	24,137
営業外費用		
支払利息	3,440	3,459
その他	0	—
営業外費用合計	3,440	3,459
経常利益	472,792	518,748
特別損失		
固定資産除却損	—	395
特別損失合計	—	395
税金等調整前四半期純利益	472,792	518,353
法人税、住民税及び事業税	158,224	205,791
法人税等調整額	25,586	8,443
法人税等合計	183,811	214,234
少数株主損益調整前四半期純利益	288,981	304,118
四半期純利益	288,981	304,118

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	288,981	304,118
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	15,958	83,255
その他の包括利益合計	15,958	83,255
四半期包括利益	304,940	387,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,940	387,374

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	472,792	518,353
減価償却費	9,280	13,710
のれん償却額	—	21,663
長期前払費用償却額	2,348	2,248
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△26,614	△41,119
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△38
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	17,191	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	25,277
受取利息及び受取配当金	△699	△755
支払利息	3,440	3,459
固定資産除却損	—	395
為替差損益 (△は益)	643	△17,358
売上債権の増減額 (△は増加)	△173,342	△233,709
たな卸資産の増減額 (△は増加)	—	661
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△24,641	83,758
立替金の増減額 (△は増加)	△26,960	△3,059
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,128	△3,233
未払金の増減額 (△は減少)	6,995	37,210
前受金の増減額 (△は減少)	—	3,032
預り金の増減額 (△は減少)	23,407	△24,824
その他	2,862	19,392
小計	282,574	405,065
利息及び配当金の受取額	729	764
利息の支払額	△4,405	△4,659
法人税等の支払額	△417,659	△190,306
営業活動によるキャッシュ・フロー	△138,761	210,863
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△8,340	△12,343
無形固定資産の取得による支出	△2,500	△36,155
長期前払費用の取得による支出	△1,555	△39
差入保証金の差入による支出	△1,498	△41,556
差入保証金の回収による収入	648	5,957
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,173,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,246	△1,257,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	142,500	△242,589
長期借入れによる収入	—	1,400,000
長期借入金の返済による支出	△22,500	△34,164
配当金の支払額	△187,826	△159,207
リース債務の返済による支出	△3,998	△3,987
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,825	960,051
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,140	24,548
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△208,692	△62,007
現金及び現金同等物の期首残高	1,733,116	1,608,398
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,524,423	1,546,390

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。